



ボランティアセンターだより

2022.2
きさらぎ
如月 106号

編集・発行 泉南市ボランティアセンター 泉南市ボランティア連絡協議会
泉南市樽井一丁目8番47号 TEL 072(483)0294
泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階 sennan-shi-vc@sennan-shakyo.or.jp

支えられたり
支えたり

子どもの居場所をみんなで作る

NPO法人ほしぞら&ふれあいハウス鳴滝は、安全で安心に暮らせる豊かな街づくりを目的に、一般住宅をリフォームして2005年に活動を始めました。(2015年に法人化)

地域に必要とされる場になっていますが、近年は特に、子どもを取り巻く課題に取り組んで様々な活動をしています。

☆夕刻の子どもの居場所 (毎週火・木曜日 15時~18時)

学校から帰って、ここで宿題をしたり、おしゃべり・ゲーム・駄菓子屋さんコーナーでの時間を思い思いに過ごす。



・コロナ禍ではお弁当での提供だったが、温かい食事をみんなと一緒に食べることで子どもの笑顔が見られる。

・運営は、助成金を受けたり寄付や企業からの食材提供もあり、調理は地域のボランティアに支えられている。

☆学習支援いっぽ

(毎週月・水曜日 18時30分~20時30分 市民交流センター)

夕食の後、高校生・大学生・社会人スタッフが学習支援をする。

小学生は1階和室で、スタッフや中学生・高校生が見守る中で学習をする。

中学生・高校生は2階会議室で、大学生・社会人から少人数別の指導を受ける。

大学生・社会人ボランティアは、2019年3月のボランティアフェスティバルに協力してくれた「りんくう翔南高校の生徒」を中心に輪が広がり、現在約40名が登録している。

費用は無料で、小学生の帰宅は保護者が迎えに来たり、スタッフが車で送っている。



☆みんな食堂

(毎週火曜日 17時~20時)

子どもは無料・おとな200円で食事ができ、仕事を終えた保護者と一緒にテーブルを囲む子どももいる。

☆ほしぞらただいま食堂

(毎週月・水曜日 17時~18時30分 市民交流センター)

小学生・中学生・高校生が登録制で無料で食事ができる。学校の後、そのまま来る子も多い。

ほしぞらからのメッセージ

それぞれの取組みに鳴滝地域外からの参加者もあり、多くの地域でこのような「子どもの居場所」ができることを希望している。

問合せ NPO法人ほしぞら&ふれあいハウス鳴滝 TEL 484-4589

郷土かるたフェス in SENNAN

コロナ禍で1年延期していたイベントを開催!!

日時 4月3日(日) 10:00~16:00 雨天の場合一部中止
主会場 埋蔵文化財センター・海会寺跡広場
内容 郷土かるたシンポジウム・かるたの里巡り
ジャンボかるた大会(賞品あり)・郷土かるた展
紙芝居で知る郷土の歴史物語・お花見音楽祭
主催 郷土かるたフェス実行委員会
問合せ せんなんかるた普及実行委員会
TEL 090-4273-8181 (森広)



※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止になる場合があります。

ボランティア 紙のリサイクル工場の見学に行きませんか!

日時 2月25日(金) 13:30~15:30
場所 山陽製紙(株) 泉南市男里
定員 15名(申込み順)
参加費 無料
受付 2月7日(月)~18日(金)
申込み・問合せ

泉南市ボランティアセンター TEL 483-0294
泉南市社会福祉協議会 TEL 482-1027 FAX 482-1618
※あいびあ泉南に集合し、乗用車に分乗して行きます

手すきハガキ
体験もできます

マスク着用で
お願いします

編集の窓

最近、新聞やテレビでよく見聞きする「SDGs(エスディージーズ)」(持続可能な開発目標)という言葉があります。

SDGsは2030年までに達成すべき17の目標で、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。目標3に「すべての人に健康と福祉を」、目標4に「質の高い教育をみんなに」があります。これはベルマーク運動の趣旨と強く繋がるものでもあり、ベルマークの収集活動に取り組むことがSDGs活動にもなります。

今、各会社が経営理念にSDGsへの取り組みを掲げている中で、48社がベルマークに協賛してくれています。私たちも収集活動に協力していきたいものです。

山本 璋



お知らせ



ベルマークと使用済み切手の収集箱を泉南市立図書館にも置いています。場所が分からない方は職員に聞いてください。パソコンの使用済みインクカートリッジ純正品(キャノン・ブラザー・エプソン)も1個5点のベルマークになります。ご協力ください!!